

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員一人ひとりの利用者についての理解の度合いに差がある	今何をしているか、何の為にしているかを理解し、利用者様へのケアのレベルを上げたい	ユニット責任者を中心に密度のあるカンファレンス(最低月1回)を行い、各自が意見を言えるようにしていく	6ヶ月
2		職員一人ひとりの家族様の思いについての理解の度合いに差がある	今何をしているか、何の為にしているかを理解しホームに入居させている家族の思いを理解する	介護計画を熟読し、家族の思いやその方法を日々確認させる	6ヶ月
3		嚥下困難者増加への対応	嚥下困難者に対してできるだけ口腔内からの栄養摂取を継続させる	嚥下困難者に限らず全ての利用者の嚥下を日々確認し、状態の悪い方への早い対応を行う(誤嚥防止委員会の設置)	3ヶ月
4		緊急時の対応を理解していない職員がいる(慣れていない職員が咄嗟の事でパニックになる傾向がある)	緊急時など少ない人数でも対応できるようにする	(救命士など)救急の対応を講習して頂き、それを日々習慣付けられるようにしていく。(救急処置委員会の設置)	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。